

音楽科 ワークシート

4年 ()組 ()番 名前 ()

資料 「こきりこ節」を歌いつぐ 五箇山（ごかやま）の人々の話

他のちいきから、五箇山に、嫁^{よつ}いできた人の話



Q どうして、おどりをおどっているのですか。

「^す住むならおどる、それが当たり前なんです。おどりは楽しいですよ。^{ぜんこく}全国でここにしかないおどりをおどれるって、^{ほこ}誇らしいです。」

ふだんは都会に住んでいて、おまつりの時にもどってくる人の話

Q おどりの 楽しさは何ですか。

「古いスタイルのおどりや、^{そつきょう}即興でつくったという、うた。^{こてんてき}古典的で^{そぼく}素朴で、「ほんもの」っていうのが、^{みりよく}魅力です。」



ほぞん会 会長 岩崎喜平さんの話



Q どうして「こきりこ節」は、復活したんですか。

「それは、「心」です。歌っておどると、「心」と「心」がつながります。難しいことでは、つながることはできません。五箇山は、そういう「心」をつないだちいき、ということです。」

Q こきりこ節^{ふし}を、うけついでいくことについて どう思いますか。

「^{でんとう}伝統をうけつぐ、となると、まずは^{ししやう}師匠に^{でし}弟子入りするところからですが、「こきりこ節」は、そういうものじゃなく、自由です。やりたい人がやればいいのです。」

私たちが、ちいきにつたわる音楽を学び、続けていくことに、どんなよさがあるのだろうか。
